

5 農業生産の動向

(1) さとうきび

さとうきびは、本県の基幹作物として県内ほぼ全域で栽培されており、令和6年の産出額は203億円で、農業産出額の22.3%を占めている。

また、令和6年の収穫面積は13,484ha、10a当たり収量は6,267kg、収穫量845,112トンとなった。

さとうきび増産プロジェクト会議を県及び島ごとに設置し、生産者・農業団体・行政関係者が一体となって、夏植生産性向上大会・株出管理推進大会等の開催、機械化の推進、「防風林の日」関連行事の開催、防風・防潮林の整備、優良品種の増殖・普及、遊休農地の解消等に取り組んでいる。

さとうきび生産の推移



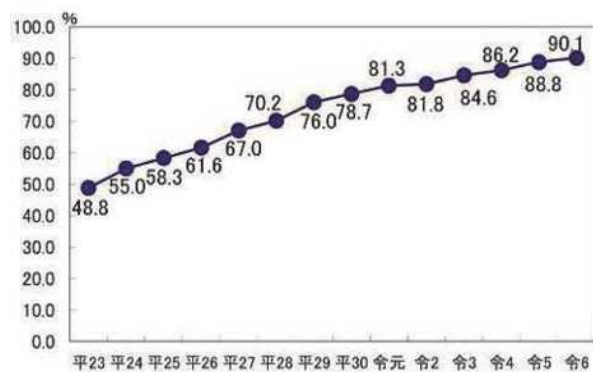
資料：沖縄県農林水産部「さとうきび及びびんしゃ糖生産実績」

さとうきび産出額の推移



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

機械収穫率の推移



資料：沖縄県農林水産部「さとうきび及びびんしゃ糖生産実績」

さとうきび増産に向けた具体的な取組

① 増産計画フォローアップ検討会及び担い手育成の取組



フォローアップ検討会の開催



さとうきび栽培実演会の開催

② 機械化の推進



さとうきび収穫機械(ハーベスタ)



ドローンによる薬剤散布のデモ飛行

③ かん水の普及・啓発



かん水タンクによるかん水



スプリンクラーによるかん水



かん水チューブによるかん水

④ 防風・防潮林の植樹及び啓発



「防風林の日」関連行事 講演会(那覇市)



「防風林の日」関連行事植樹大会(与那国町)



I 沖縄県の概況

II 新・沖縄21世紀農林水産業振興計画

III 沖縄県の農業

IV 沖縄県の森林・林業

V 沖縄県の水産業

VI 農林水産部予算の概要(当初予算)

VII 農林水産部関係団体名

(2) 野菜

本県における野菜の生産は、亜熱帯の温暖な気候を活かした生産振興により、冬春期のさやいんげんやゴーヤーを中心とした県内外消費地への供給産地となっている。

令和5年の野菜産出額は136億円で農業産出額の15.5%を占めており、作付面積が2,207ha、収穫量が43,987トンとなっている。

主要野菜の生産動向は、10年前と比較して、ピーマン、かぼちゃ等が伸びている。

野菜生産の推移



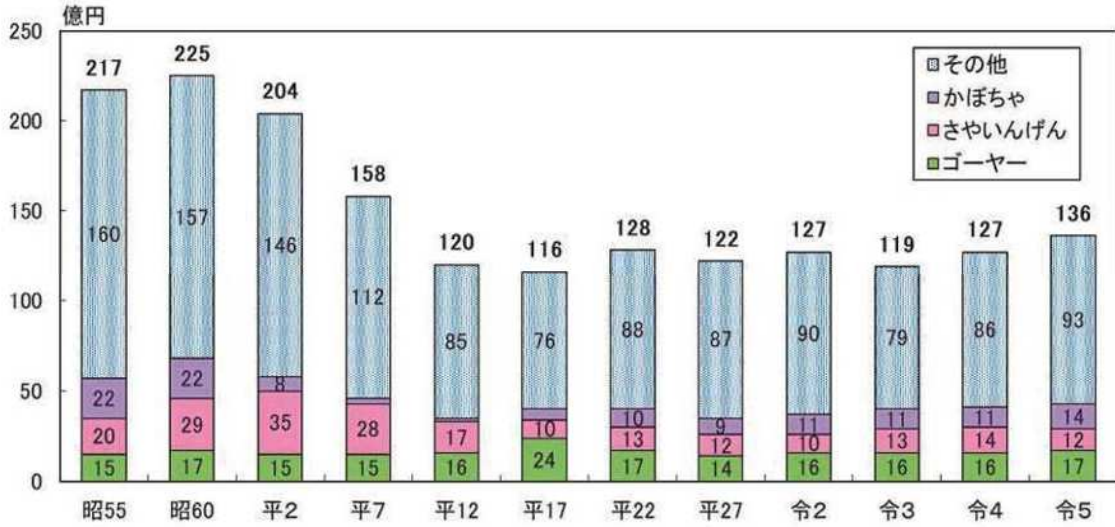
資料：内閣府沖縄総合事務局「園芸・工芸農作物市町村別統計書」（平成18年以前）、
農林水産省「作付面積調査」（平成19年から平成28年の作付面積）、
沖縄県園芸振興課資料（平成19年以降の収穫量、平成29年以降の作付面積）

主要品目の全国シェア

	年産	全国における順位	収穫量(t)		県/全国(%)	備考
			沖縄県	全国		
ゴーヤー	令4	1位	5,910	16,200	36.5	2位 宮崎県 3位 群馬県
とうがん	令4	1位	2,340	8,140	28.7	2位 愛知県 3位 岡山県
オクラ	令4	3位	985	11,100	8.9	1位 鹿児島県 2位 高知県
らっきょう	令4	4位	379	6,700	5.7	1位 鳥取県 2位 鹿児島県
さやいんげん	令6	6位	1,570	29,700	5.3	1位 千葉県 2位 北海道
かぼちゃ	令6	6位	3,920	164,400	2.4	1位 北海道 2位 長野県

資料：農林水産省「地域特産野菜の生産状況」（ゴーヤー、とうがん、オクラ、らっきょう）、
農林水産省「野菜生産出荷統計」（さやいんげん、かぼちゃ）

野菜産出額の推移



資料：農林水産省「生産農業所得統計」



さやいんげん



かぼちゃ



オクラ

ゴーヤーの生産状況



ゴーヤーの新品種「沖農G7」



資料：内閣府沖縄総合事務局「園芸・工芸農作物市町村別統計書」、
沖縄県園芸振興課資料

ゴーヤーは、本県の野菜生産における主要品目であり、沖縄県農業研究センターにおける優良品種の育成、栽培施設の整備、栽培技術指導、消費拡大対策等により生産振興が図られている。令和5年は、産出額が17億円、収穫量が5,460トンとなっている。

(3) 花き

本県の花き生産は、冬春期の温暖な気象条件を活かし、生産農家や出荷団体等の意欲的な取組と産地育成のための各種施設整備等を行ってきた。拠点産地の形成も進み、キク類を中心に、熱帯花き類、洋ラン、切り葉、観葉鉢物等の栽培が行われており、近年はトルコギキョウの栽培も増加している。

令和5年の産出額は、82億円で農業産出額の9.3%を占めており、作付面積は677ha、出荷量は切花類2億1300万本、鉢物類59.8万鉢となっている。

花き生産の推移



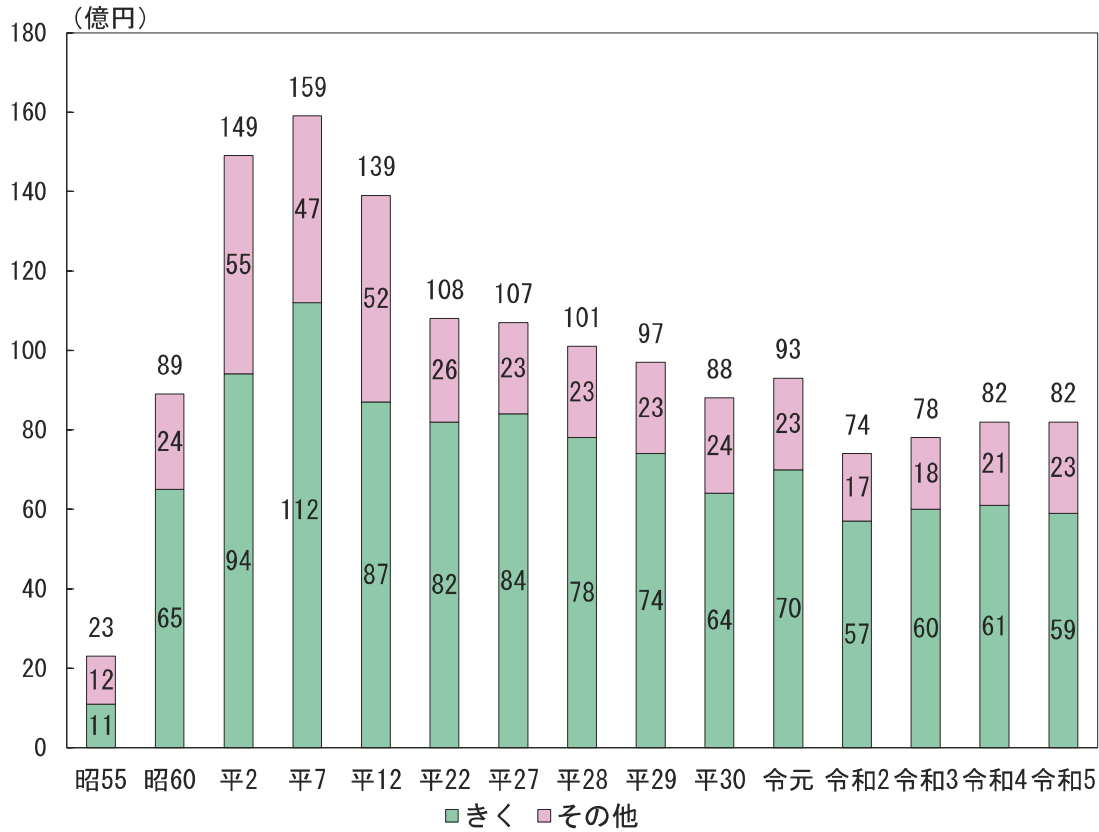
資料：沖縄県園芸振興課資料

主要品目の全国シェア

	年産	全国における順位	出荷量(千本)		県/全国(%)	備考
			沖縄県	全国		
きく	令和6年	2位	177,300	1,111,000	16.0	1位 愛知県 3位 福岡県
切り葉	令和6年	2位	15,700	74,000	21.2	1位 東京都 3位 鹿児島県

資料：農林水産省「花き生産出荷統計」

花き産出額の推移



資料：農林水産省「生産農業所得統計」



平張施設(キク)



トルコギキョウの栽培状況



自動選別結束機(きく)



小ぎくの栽培状況
(電照用LED電球)



沖縄県花き品評会出品状況



県産花きの展示

(4) 果 樹（パインアップルを除く）

本県の果樹は、初春のタンカンを皮切りに、夏場にはリゾート沖縄を象徴するマンゴー、8月中旬から全国に先がけて青切りの温州みかんが生産されている。

パインアップルを除く令和5年の産出額は42億円で、主な品目の生産量は、マンゴー2,041トン、タンカン239トン、シークワサー3,006トン、温州みかん68トンとなった。

果樹（主な品目）生産の推移

	単位	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2	令3	令4	令5	
マンゴー	結果樹面積	ha	249	242	245	254	265	269	271	270	269	268
	収穫量	t	1,931	2,035	1,296	2,207	1,793	1,837	1,647	2,202	1,796	2,041
タンカン	結果樹面積	ha	172	186	171	94	93	96	96	86	93	93
	収穫量	t	565	1,028	1,130	1,383	870	579	1,109	502	459	239
シークワサー	結果樹面積	ha	384	378	364	363	362	349	403	421	423	424
	収穫量	t	2,799	3,676	3,058	3,398	3,289	2,554	4,494	3,879	3,580	3,006
温州みかん	結果樹面積	ha	57	55	55	28	28	27	25	26	24	27
	収穫量	t	333	244	305	156	229	109	189	123	110	68
バナナ	結果樹面積	ha	20	-	-	8	9	7	12	6	8	8
	収穫量	t	115	107	174	131	86	84	89	85	85	87
パパイヤ	結果樹面積	ha	7	5	-	3	2	3	2	2	1	2
	収穫量	t	44	58	56	87	49	34	22	39	21	17
ドラゴンフルーツ	結果樹面積	ha	11	10	4	6	4	3	5	3	3	4
	収穫量	t	157	154	91	106	63	52	59	30	17	16
パッションフルーツ	結果樹面積	ha	13	9	12	13	11	11	11	8	9	11
	収穫量	t	119	103	121	128	128	75	77	91	85	91

資料：内閣府沖縄総合事務局「園芸・工芸農作物市町村別統計書」、沖縄県園芸振興課資料(R6.12月現在)

主要果樹の全国シェア

	年産	全国における順位	生産量(t)		県/全国(%)	備考
			沖縄県	全国		
マンゴー	令4	1位	1,796	3,559	50.5	2位 宮崎県 3位 鹿児島県
パパイヤ	令4	4位	21	119	17.9	1位 鹿児島県 2位 宮崎県 3位 千葉県
シークワサー	令4	1位	3,579	3,581	100.0	2位 鹿児島県
タンカン	令4	2位	459	3,566	12.9	1位 鹿児島県 3位 宮崎県

資料：農林水産省「特産果樹生産動態等調査」、沖縄県園芸振興課資料(R7.2月現在)

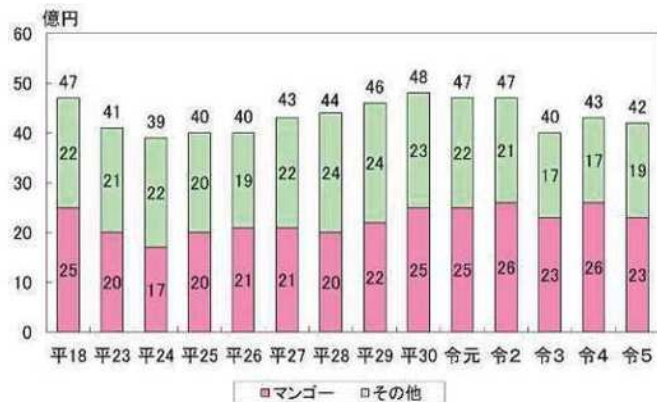
果樹（パインアップルを除く）産出額の推移



マンゴー（アーウィン）



シークワサー



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

(5) パインアップル

パインアップルは、本県特産の果実として本島北部や八重山などの酸性土壌地域で栽培されている。令和5年は、産出額 20 億円、栽培面積 590 ha、収穫量 6,750 トンとなっている。

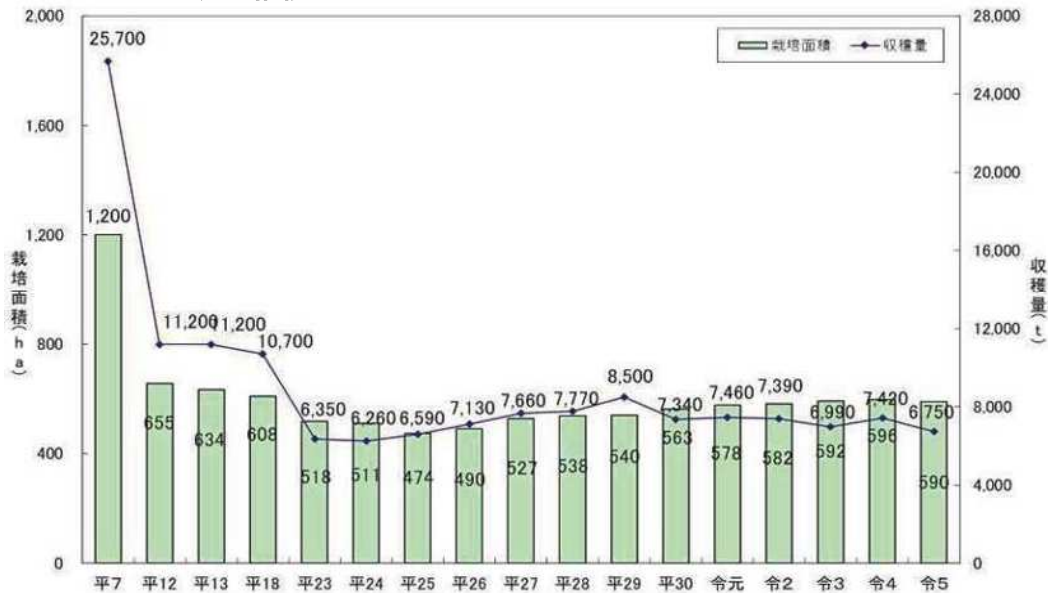
パインアップルの生産供給体制を強化するため、優良品種の普及等によるブランド構築、生食用と加工原料用生産のバランスのとれた生産体制の確立、ハウス導入による品質向上と出荷期間の拡大、機械化の推進による労力の軽減を図る。

パインアップル生食用優良品種



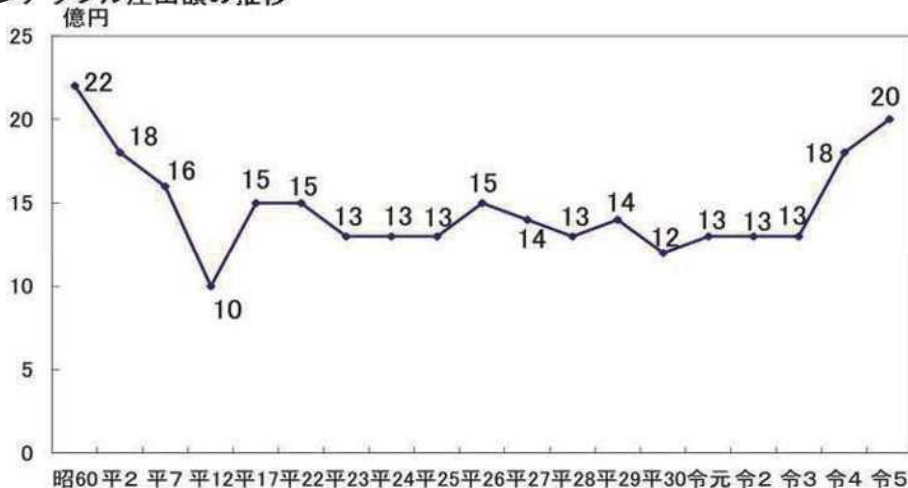
沖農 P19 (商標名: 赤いトコ) 沖農 P17 (商標名: サドルフェイス) ゴールドバレル

パインアップル生産の推移



資料：農林水産省「農林水産統計データ：沖縄県のパインアップルの栽培面積・収穫面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量」

パインアップル産出額の推移



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

I 沖縄県の概況

II 新・沖縄21世紀農林水産業振興計画

III 沖縄県の農業

IV 沖縄県の森林・林業

V 沖縄県の水産業

VI 農林水産部予算の概要(当初予算)

VII 農林水産部関係団体名

(6) 葉たばこ

葉たばこは、さとうきびの複合作物として、宮古、八重山、伊江などの離島地域を中心に生産が行われ、地域の重要な作物として生産されている。

令和7年は、収穫面積470ha、収穫量1,086トンとなった。

葉たばこ生産の推移

	単位	平22	平27	平30	令元	令2	令3	令4	令5	令6	令7
収穫面積	ha	1,141	944	874	826	772	728	518	500	488	470
収穫量	t	2,249	1,415	2,097	1,764	1,634	1,687	800	930	1,039	1,086

資料：沖縄県たばこ耕作組合資料

(7) 水 稻

本県の水稲は、本島北部離島や八重山地域を中心に生産されており、当該地域における重要な作物となっている。

令和7年は、作付面積632ha、収穫量1,980トンとなっており、そのうち一期作が作付面積447ha、収穫量1,580トン、二期作が作付面積185ha、収穫量398トンとなった。

水稲生産の推移

	単位	昭47	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2	令3	令4	令5	令6
引受戸数	戸	3,728	729	696	663	637	600	493	383	298	289	255	209	197
引受面積	ha	702	837	810	783	731	700	524	355	273	270	276	237	245

資料：農林水産省「作物統計調査」等

(8) かんしょ

本県のかんしょ生産は、令和6年産で作付面積188ha、収穫量2,355トンとなっており、青果用や加工用に出荷・利用されている。

県内の拠点産地としては、読谷村、今帰仁村、八重瀬町具志頭、うるま市、久米島町、石垣市、宮古島市が認定されている。

かんしょ生産の推移

	単位	平22	平27	平28	平29	平30	令元	令2	令3	令4	令5	令6
作付面積	ha	254	263	294	281	282	272	273	266	267	188	188
収穫量	t	4,100	4,200	5,040	3,820	3,770	3,540	3,130	3,180	3,360	2,350	2,350

資料：農林水産省「作物統計調査」等



葉たばこ圃場



「ひとめぼれ」(石垣市)



奨励品種「紅つよし」「ちゅら恋紅」

(9) 薬用作物

本県の薬用作物は、ウコン類、アロエベラ、クミスクチン、グアバ等が栽培され、お茶や健康食品として加工・販売されている。

県内の拠点産地として、名護市(ウコン)、南城市佐敷(薬用作物)、うるま市具志川(グアバ(茶))、与那国町(ポタンボウフウ)が認定されている。

薬用作物(主な品目)生産の推移

		単位	平27	平28	平29	平30	令元	令2	令3	令4	令5	令6
アロエ	収穫面積	ha	9.2	6.1	2.6	2.2	1.9	13.5	0.2	—	0.1	—
	生産量	t	10.3	9.7	4.5	2.2	2.3	266.7	2.0	—	*	—
ウコン	収穫面積	ha	30.0	37.5	42.7	53.5	54.6	51.0	53.5	48.0	49.3	50.2
	生産量	t	41.9	102.6	49.1	59.0	73.1	67.9	69.5	54.7	74.6	64.6
クミスクチン	収穫面積	ha	2.4	1.0	1.0	1.0	0.7	0.8	0.8	0.6	0.3	0.5
	生産量	t	4.3	2.5	1.6	1.6	2.0	2.3	1.7	1.0	0.8	0.9
グアバ(茶)	収穫面積	ha	4.6	5.1	2.3	3.7	1.1	1.2	1.6	1.5	1.0	1.2
	生産量	t	7.7	6.2	6.1	5.0	4.5	4.2	0.9	2.5	2	0.8
ポタンボウフウ	収穫面積	ha	27.0	27.0	22.0	22.0	21.1	1.5	2.2	2.3	2.6	2.6
	生産量	t	29.5	29.9	37.8	37.8	36.1	2.5	14.1	14.1	17.0	3.1

資料：沖縄県糖業農産課資料

注)「*」は、調査対象戸数が1の場合で実数は表記しない。



茶の栽培状況



紫ウコン(ガジュツ)、春ウコン、秋ウコン



ポタンボウフウ(長命草)

(10) 茶

茶は、主に沖縄本島中北部の山間傾斜地で栽培され、温暖な気象条件のもと、一番茶が他府県より1か月早く収穫できる有利な条件にあり、地域特産物として生産・加工が行われている。

茶生産の推移

	単位	昭47	昭50	昭55	昭60	平2	平7	平12	平17	平21	平22	平23	平24
作付面積	ha	110	109	83	72	66	63	45	41	41	41	40	38
生葉収穫量	t	784	1,118	862	776	482	474	394	—	278	—	—	—
荒茶生産量	t	—	244	178	154	92	95	78	—	57	—	—	—

	単位	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2	令3	令4	令5	令6
作付面積	ha	36	32	31	30	—	—	—	24	—	—	—	—
生葉収穫量	t	—	152	—	—	—	—	—	111	—	—	—	—
荒茶生産量	t	—	31	—	—	—	—	—	24	—	—	—	—

資料：農林水産省「作物統計調査」

注：平成17年以降、栽培面積以外については、5年周期年調査に移行。

平成29年以降から全国調査は6年毎の実施に変更。

(11) 肉用牛

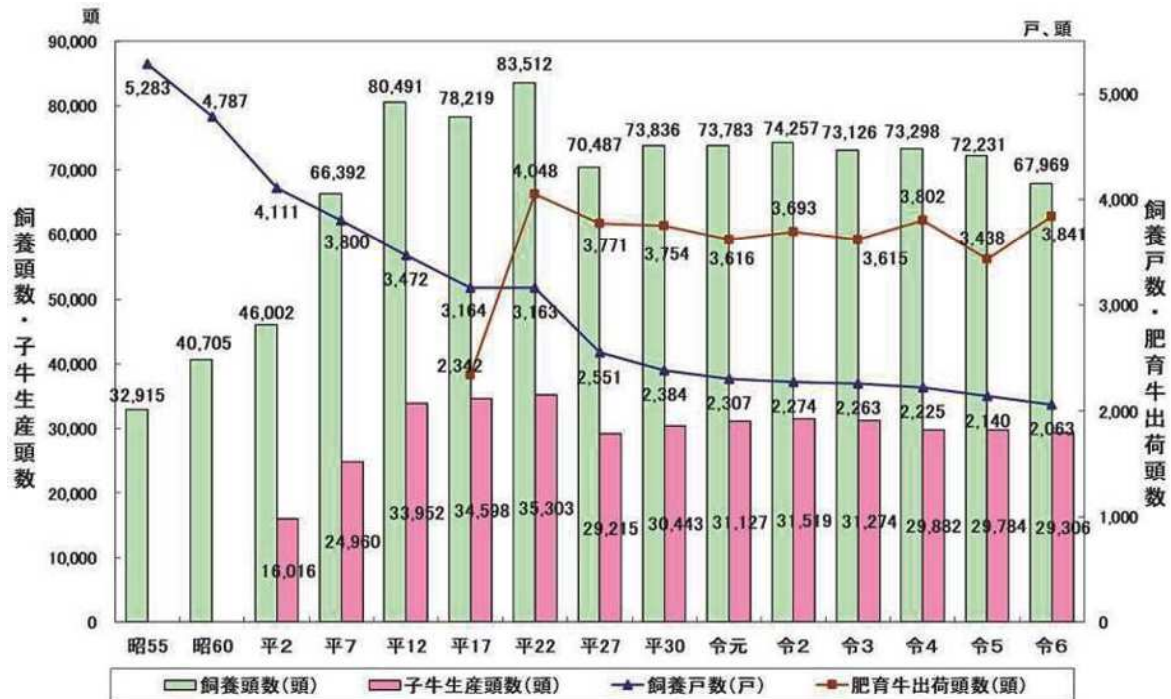
本県における令和6年の肉用牛飼養頭数は67,969頭で、子牛の取引頭数は24,279頭と全国第4位の子牛生産地となっている。令和6年の肉用牛産出額は、147億円となり畜産産出額の約4割を占め県内畜産のリーディング産業となっている。

沖縄県有種雄牛「幸紀照重」（さきてるしげ）が、種雄牛候補の産肉能力を検証する現場後代検定において、枝肉形質6項目のうち、脂肪交雑で平均BMS No. 11.4（去勢:11.4、雌:11.6）を記録し、歴代の県有種雄牛の最高成績を更新した。



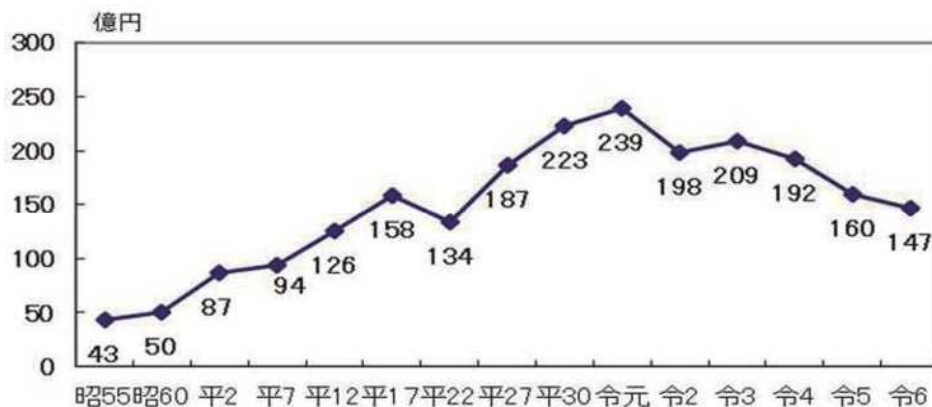
沖縄県有種雄牛「幸紀照重」

肉用牛生産の推移



資料：沖縄県畜産課「12月末家畜・家きん等の飼養状況調査」、(公社)日本食肉格付協会「牛枝肉格付情報」（年次集計）

肉用牛産出額の推移



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

(12) 酪農

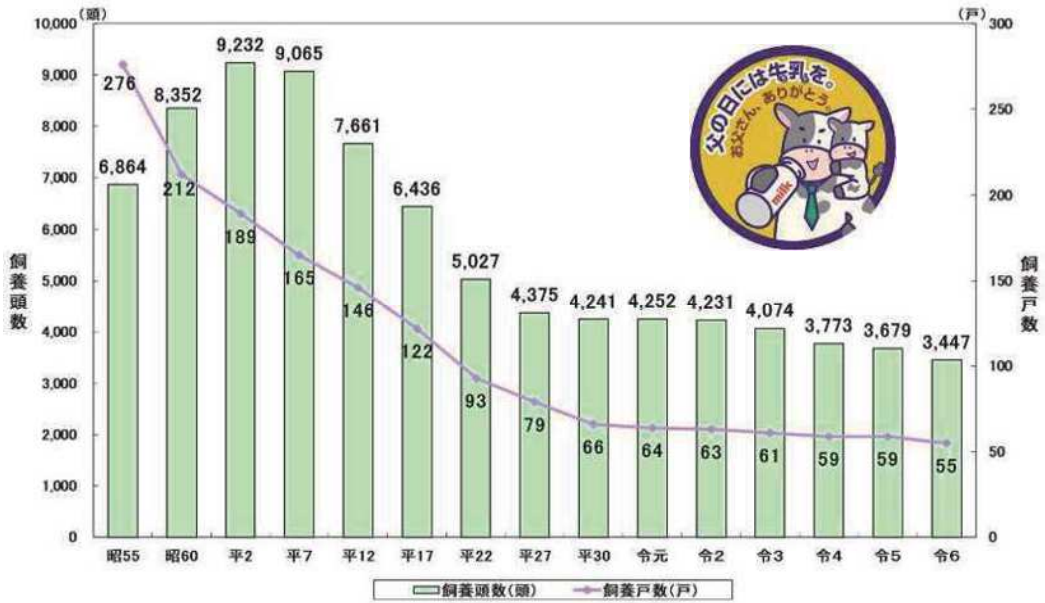
本県の酪農は、県内市場や学校給食への県産生乳の供給を通して、県民の健康増進に大きく寄与している。

一方、担い手不足、育成牛の生産費や飼料価格の高騰等によって、飼養戸数、頭数ともに減少傾向にある。安定的な生乳生産を図るため、沖縄県家畜改良センターを活用した自家育成の推進等による生産コスト低減に努めている。



牛乳消費拡大キャンペーンによる副知事への県産牛乳贈呈式

乳用牛生産の推移



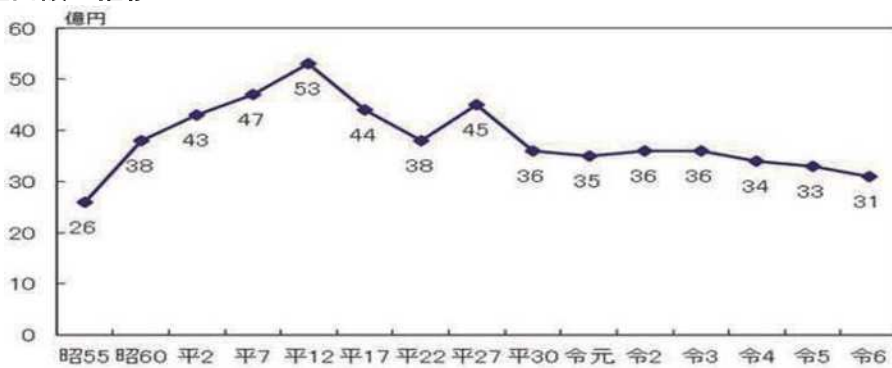
資料：沖縄県畜産課「12月末家畜・家きん等の飼養状況調査」

生乳生産量の推移

	単位	昭55	昭60	平2	平7	平12	平17	平22	平27	平30	令元	令2	令3	令4	令5	令6
生乳生産量	トン	17,879	26,202	31,208	37,756	42,999	37,787	28,031	26,682	24,118	23,418	23,017	22,844	21,716	20,011	18,971

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計調査」、沖縄県畜産課資料

乳用牛産出額の推移



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

I 沖縄県の概況

II 新・沖縄21世紀農林水産業振興計画

III 沖縄県の農業

IV 沖縄県の森林・林業

V 沖縄県の水産業

VI 農林水産部予算の概要(当初予算)

VII 農林水産部関係団体名